

トマトの青枯病の対策にアミノ酸肥料の効果



1. 生育中の対策について

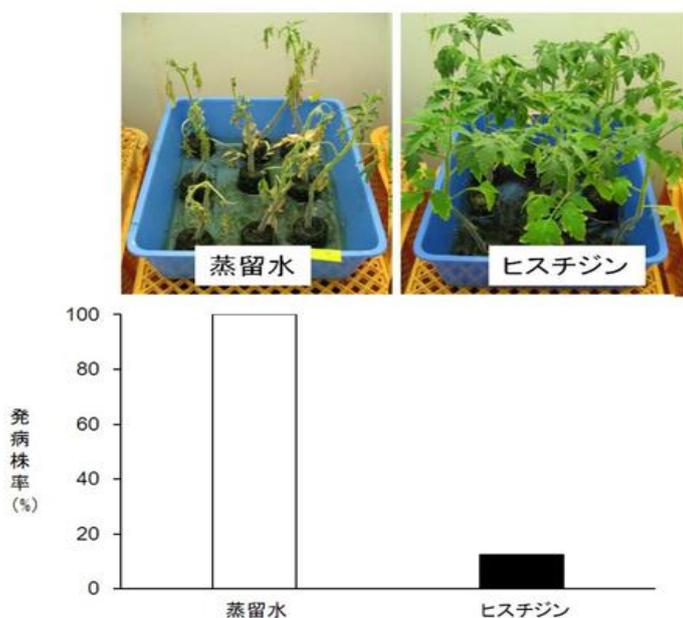


図3. ヒスチジンの青枯病発病抑制効果

トマトを植えたポットをヒスチジン溶液に2日間浸漬した後、青枯病菌を接種しました。接種して7日目に、撮影するとともに、発病したトマト株の数を計測しました。対照区としてヒスチジン液の代わりに同量の蒸留水を与えました。Seo et al. 2016 より改変。

農研機構資料参照

有機質肥料の中で「ヒスチジン」を含む液肥を使用することで根の生育も活性化され青枯菌を抑制された試験です。

- ①アミクエの5～10kgを5～10日間隔で灌水処理
- ②コラーゲン・ラボの5～10kgを5～10日間隔で灌水処理